

第204号

2024年6月15日発行
発行者 日本共産党利島支部
笹岡 寿一

〒100-0301

東京都利島村850番地
電話 04992-9-0191

Fax 04992-9-0241

メール to_sasaoka@yahoo.co.jp

あしたば

日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 豊富な内容と真実を伝える
「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい【月990円】

村の政治は村の人々の為に
あります。皆さんのご要望・
ご意見などお寄せ下さい！

都知事選 蓮舫氏を擁立

反自民・非小池都政への転換を

市民と野党の候補者選定委員会



都知事選への立候補を表明した立憲民主党の蓮舫参院議員
(中央)と、(左から)小池、福山舞劫、宇都宮、(1人おいて)
前川、手塚、義山南帆子の各氏。27日、衆院第1議員会館

東京都知事選(6月

20日告示、7月7日投開
票)告示まで1カ月を切
った5月27日、第5回候
補者選定委員会が都内
で開かれ、市民と野党の
共闘候補に立憲民主党
の蓮舫参院議員を擁立
することを決めました。

蓮舫氏

冒頭、蓮舫氏が駆けつ
け、今たかかわなければ
いけないのは自民党政
治であり、「自民党政
治を支えている小池都政
は終わらせないといい
ない」と強調。反自民
政治、非小池都政に転換
する都知事を目指す

表明しました。

共産小池晃氏

日本共産党の小池晃
書記局長は「裏金づくり
と暮らし、憲法破壊の自
民党政治に審判を下す
選挙だ」と発言。小池都
政について「2年間で48
億円もの金を都庁舎な
どへのプロジェクト
マッピング(映像投影)に
使う都政でなく、都庁に
食料を求めて並ぶ人が
出ない都政の実現を正
面から掲げ、頑張り抜き
たい」と表明しました。

立民手塚仁雄氏

立民の手塚仁雄都連
幹事長は「私自身も自ら
の政治生命を賭してこ
の選挙戦をたたかい抜

いていきたい」と決意を
語りました。

宇都宮健児氏

前川喜平氏

2020年都知事選
候補の宇都宮健児弁護
士、元文部科学事務次
官の前川喜平氏らが都
政転換の意義や今後の
抱負を語りました。

日本共産党

勝利へ全力

小池晃氏は選定委後の記者会見で、蓮舫氏
の立候補について「最強・最良の候補者が名
乗りを上げてくれた。日本共産党として、勝利
のために全力を尽くしたい」と表明しました。

裏面に続く

**都知事
選挙**

オール東京 力合わせ

蓮舫氏が出馬表明

立憲民主党の蓮舫
参院議員は5月27
日、同党本部で記者
会見。東京都知事選
に出馬する意向を表
明しました。

蓮舫氏は会見で、自
民党派閥のパーティ
ー券収入を巡る裏金事
件など自民党の「政治
とカネ」の問題に言
及。「自民党政治の延
命に手を貸す小池都
政をリセットしてほし
い」という国民の声は
「はつきりしている」と
強調。「その先頭に立つ

自民党政治延命に手を貸す

小池都政のリセットを

のが、私の使命だ」と
して、野党を分断し、
都議補選などで自民
党を応援してきた小
池百合子都知事を厳
しく批判しました。

また、日本共産党を
含む野党共闘を実現
しなければ都知事選
では勝てないのでは
との質問に、蓮舫氏は、
自民党政治を終わら
せるためには、一人でも
多くの広範な都民の
支援が必要だと表明。
「いま言われた（共産
党などの）方たちの
信頼関係はもちろん
大事にしていきたい」
として、「何よりも反
自民党政治、非小池都
政のオール東京に共
鳴してくださいる1人
でも多くのみなさんの
支援をいただきたい」
と表明しました。



写真は、第5回候補者選定委員会で
あいさつする蓮舫参院議員

首都から政治の流れ変える 共産党・小池晃氏



利島村議会議員
笹岡 寿一

(1面続報)小池晃氏は会見で「首都東京から日本
の政治の流れを変え、岸田自公政権に審判を下
していく」と強調。「同時に小池都政は財界の目先
の利益だけを最優先にしている自民党政治その
もの。小池都政の転換を実現するという立場で選
挙戦に臨み、必ず勝利したい」と語りました。



第5回候補者選定委員会で発言す
る日本共産党・小池晃書記局長

日本共産党



今の都政をこう変える！
都政アピールをぜひご覧ください→





議 会 報 告

ささ おか としかず
笹岡寿一の



2024年度・第2回定例村議会は、6月11日(火)に開会しました。会期は、12日(水)迄の2日間としました。12日の午後1時50分に閉会しました。笹岡議員の一般質問を中心に、行政報告と議案に関しては、「住民の皆さんに直接的に関係がある」と思われる件について、お知らせします。議案は、条例案件3件、6年度一般会計の補正予算案件1件、複合型サテライトオフィス建設事業工事契約1件、その他1件です。

6月議会で話し 合われた内容です



住民の皆様とともに進めて参ります。

島嶼会館宿泊料金の改定

榎本総務課長「物価高騰等に伴い、令和6年9月1日以降の利用分から島嶼会館の宿泊料金が現行と比べて、1、300円の値上げとなります。」

「一人当たりの宿泊料金は、部屋別や同部屋での宿泊人数によって異なります。」

下記の別表をご覧ください。

「笹岡」

【別表】 島嶼会館 島民・宿泊新料金 [2024年9月1日以降]

	1人宿泊	2人宿泊 (1人に付)	3人宿泊 (1人に付)	4人宿泊 (1人に付)
和室(16.8㎡)	7,400円	6,800円	6,200円	
和室(22.0㎡)		6,900円	6,300円	5,700円
洋室 (15㎡/E18㎡)	7,300円	5,700円		
洋室 (22㎡/28.2㎡)		6,900円		

第2回健康

フェスティバルの開催

榎本住民課長「5月11日に地域交流会館において、社協主催による健康フェスティバルが開催され、49名の参加がありました。」

当日は、診療所所長の野尻医師による講演や、平成医療福祉グループから1年間派遣されていた萩原理学療法士による健康体操と昨年に引き続き体力測定を行いました。

带状疱疹ワクチン接種

榎本住民課長「5月15日までに12名の申込みがありました。今年度も引き続き、自己負担なしの接種として実施します。」

笹岡議員「次回は何時ごろになりますか。」

榎本住民課長「6月と8月頃を考えています。決定したらお知らせします。」

椿害虫薬剤散布

萩野産業観光課長「5月8日から約80ha範囲で薬剤散布を実施しています。」

クレーン利用状況 報告

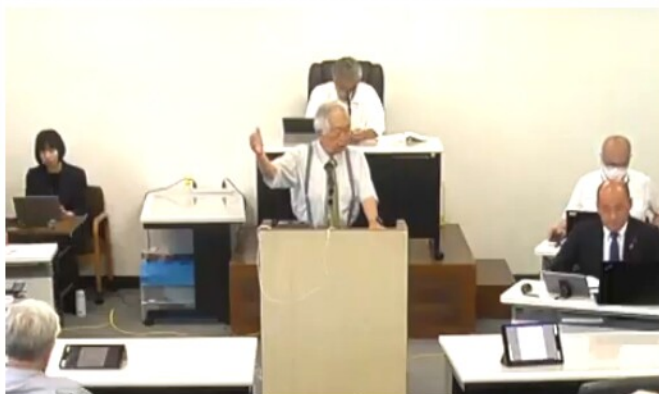
萩野産業観光課長

七島海運株 2月・4回 3月・10回 4月・9回 計23回
貸出 8回



質問に先立って

笹岡議員「私たち現議員が村政を議論し、議案を議決する定例議会も余すところ、今議会と9月議会の2回となりました。私は、任期の終わりまで島外医療受診の際の旅費支援制度の



充実をはじめ、医療、福祉、教育、産業等の生活に関する住民の要望や意見が、村長初め、行政職員の皆さんに受け入れられて実現するよう、住民の皆さんと力を合わせて努力して参ります。

議会に提出する 文書の公開

【笹岡議員】行政報告、一般質問通告書、答弁骨子、議案書を議員に送付と同時に、一般公開する事を求める要望があります。

対処する事を求めます。議会事務局は議会議長の指揮のもとに職務がなされべきと考えています。それが本村にあつては、兼職と云う組織の下にあつて、主に行政の指揮のもとに職務がなされているように見受けています。改善を求めます。

【榎本総務課長】議会事務局については改善に努めます。行政報告、議案書、及びその付属資料については、議員への送付と同時に、村のホームページで公開しています。

【笹岡議員】一般質問通告書、及び答弁骨子についても同様公開を求めます。議員が何を質問したか。行政がそれにどう

う答えているか、住民に事前には知らせることで、議員は皆さんの意見や要望を聞いて村政に届ける事が出来ます。何も知らされていない住民が、意見を述べるのは不可能です。

【榎本総務課長】一般質問通告書については、議員の同意により公開します。

答弁骨子については、議員送付後に議員が議員活動として公開する事は議員の裁量に属する事と考えています。ホームページへの掲載は控えさせて頂きます。

【笹岡議員】殆どの島がタブレットは使用していません。本村の現議員も未だに手間取っている状況があります。議案等は、紙での送付を求めます。

島外診療受診の際の旅費助成

【笹岡議員】

全住民を対象に交通事情による2日間迄の延泊を含めて、交通費(ジェット船・愛らんビュートル)と宿泊料金は島嶼会館の9月か

らの値上げ後を基準にして、1回に付き実費5万円迄の70%を回数制限なく助成する事の早期実施を求めます。

【榎本住民課長】東海汽船の運賃の値上げに合わせて、5月の島外診療分から、補助額を増額しています。

9月からの島嶼会館の宿泊料の値上げに伴い、この部分の補助を増額する予定です。



奨学金返済額の 2分の1を免除

【笹岡議員】私は、日本は高等教育に掛かる授業料、入学

金などが高過ぎる上に、有償の奨学金による返済など教育費の負担が重く、先進国の中でも、「教育後進国」と云われている事を申し上げた上で、村の奨学金返済額の半額を早期に免除するよう求めてきました。年に僅か、80万円程の負担で事足りります。

【弟子丸教育長】奨学金返済額の一定額一律免除については、Uターンの促進を目的の一つとする本制度の趣旨に照らして慎重な検討を要することから、現時点では考えておりません。

【笹岡議員】質問の趣旨は理解頂いていると認識しています。今後も引き続き要望していきます。

空き家バンク登録と リフォーム

【笹岡議員】損傷の在る村営住宅の早期改修を求めます。民家の空き家の改修は、登録を受理した時点でリフォームして、何時でも入居できる状態にしておく事を提案します。

【上野環境建設課長】ライフラインに係る緊急度が高いものから、順次修繕を行っていききます。空き家の改修につ

サテライトオフィス に係る住民の意見

【笹岡議員】住民の中には、「今でも農協の施設を含めると3ヶ所の集会所がある。その上更に、数億円も掛けてまで、この小さな島に集会所を建設する必要があるのか。競合するとは思わないのか」とか、「優先順位が椿油工場やゴミ焼却場の建設が先だろ

うが」と云った本質を突いた批判があります。村が、「管理運営は、これから検討する」と云っている話には、「まずは建てる事が先で、『出来てから考える』と云うのでは、無責任も甚だしい」との批判があります。各々尤もな意見と受け止めています。管理運営は直営であれ、業務委託であれ、誰一人利用者がいない日々が続こうとも職員の常駐は要します。

そこで、以下について、具体策を説明願います。
1、年間の開業日数は、何日で、休業日は休業ですか。
2、一日の開業時間は、何

時から何時迄ですか。

3、職員は、施設建屋ごとに配置しますか。

4、総職員数は何人構成で諸経費の総額は、どのくらいを見込んでいますか。

5、利用者に対する応接や業務サービスは、何を計画していますか。

荻野産業観光課長 1、年間の開業日数は、現時点では、週1日及び年末年始の休館で、年間の開業日数は、約300日を見込んでいます。

2、一日の開業時間は、お示しできません。

3、職員の配置数は、お示しできません。

4、職員数、諸経費の総額は、お示しできません。

5、利用者に対する応接や業務サービス

来館者による利用の問合せなどに対応する予定です。

笹岡議員 正に、住民が指摘しているとおり、何の管理、運営計画も検討することなく、

「村長の口約だから」と云ってやみくもに建設に取り組んできている実態が明らかになりました。

将来の管理、運営に関する経費の負担が重くのしかかって来るのではないかと懸念しています

既存野外施設の 将来的管理運営

笹岡議員 管理で象徴的なのが、大改修計画している南が山園地です。

遊歩道(集水路)、キッチンハウス、野外テーブル、池などは放置されつつあります。植栽した果樹は見る影もありません。

トイレは、水利の確保に抜本的な改修を要します。

南が山園地以外の公園や展望台などの野外施設も管理がおぼつかない状況にあります。

管理運営には補助金もなく、人の問題もあり容易ではありません。

そこで、これら施設の管理運営計画について伺います。

荻野産業観光課長 南ヶ山園地やなかよし公園は、サステナブル・アイランド創造事業の中で検討しているところです。

これらの検討結果を踏まえて、今後の管理のあり方や範囲など、適宜、見直していきたいと考えています。

製油センターの 早期建設

笹岡議員 椿油製油工場の早

期建設は、生産者、農協の悲願となつています。

再来年(2026年)の秋には、新工場の供用開始を図る取り組みを求めます。

それには、急ぎ用地を確保して、「設計図はある」と云いますから、「今年度内に建

屋の基礎まで完成しておく必要がある」と考えます。

荻野産業観光課長 新椿油製油センターについては、今定例会で、土地のボーリング調査費を計上した補正予算案を上程しています。

笹岡議員 地質調査の場所は何処ですか。完成年次は何時を計画していますか。

荻野産業観光課長 場所は、現製油工場の斜め前の村有地を予定しています。

完成年次は言えません。

「場所に関する予算案審議の中の質問です。」**笹岡**

笹岡議員 現工場は30年も前にも、「衛生環境上問題がある」ので移設すべき」とする話がありました。

現製油所斜め前の用地取得と地質調査は由として、同土地はゴミ焼却場にして、製油工場は他に建設の検討を求めます。

村山村長

そこに決定している訳ではありません。質問の趣旨を踏まえて検討します。

笹岡議員 去る4月の中旬に議長、副議長との話し合いがあったと聞いています。

その内容を伺います。

村山村長 その質問には、答弁できません。

《翌12日》

笹岡議員

この件に関しては、「当事者である村長の口から話して欲しい」と云う思いから、自らの発言は控えてきました。残念ながら、それは叶いませんでした。

昨夜から今朝にかけて、何人かの人から、「何を質問しているのか、さっぱり分からない。何時間も休憩して何を話しているのか。分かるように説明して欲しい」と云った主旨の批判や要望がありました。

これに添えて、これから私から発言します。

「議長を除く全議員が5月9日に島嶼会館で聞いた村長と議長、副議長との話し合いの内容は要旨

右下の別表のとおりです。

議長、副議長のどちらが発言したのか分かりませんので、「議員」と表示します。」**笹岡**

議員

6月補正予算では製油工場建設に関する経費の計上を求める。

村山村長 「それには答えず」製油工場の建設は前村長の政策であり、私の政策ではない。修繕すれば10年やそこら使用できる。

議員 予算を付けなければ不信案を出す。

村山村長 出せば受けて立つ。

笹岡議員

我々議員が聞いた話は概ね以上です。

村山村長 議長、副議長と話し合いをしたのは事実です。

話し合いについての詳細は控えませんが、「私的話し合いではない」と認識しています。

と云って公務と云う事でもなく、政務を政治家として話し合っ

た事です。

製油工場について云えば、「前村長の政策であり、私の選挙公約にはない」と云う事です。

「建てない」とは言っていない。焼却場や住宅と比べて優先度は低いと云う事です。

議会では答弁するようなことではないと考えています。

笹岡議員 村長の答弁は、弁解なのか反論なのか分かりませんが、私は島嶼会館で議長を除く全議員が一堂に会して議員から聞いた話を何事も付け加えず、

捻じ曲げもなく率直に述べました。議会で取り上げる話ではないとの事です、休憩中の議員控室でも、「プライベートの話であり、議会で取り上げる話ではない」とか、「出せば質問を打ち切る」と言う話までありました。

私は、「プライベートでも無ければ、質問を打ち切る事でもない」と述べて、「私を説得するのではなく、村長に説明するよう話をされたい」と告げて退室しました。

何よりも、この話を聞いて私が重視したのは、製油工場の建設が進まない決定的な要因は、村長のこの考えにある事が分かったと云う事です。これを、「議会で取り上げないで何処で取り上げるのか」と云いたいのです。今議会でも、「建設計画年次は不明」と云っています。

後は、これを聞いた住民の皆さんが、「どう受け止めるか」にかかると考えます。全ては住民の皆さんの判断に委ねたいと思います。以上で、この件については終わります。

榊林の放置林対策

笹岡議員 本村の一次農産業の要は、何と言っても榊油産業であり、「この産業を軽視した

のでは、農産業は壊滅する」と考えます。住民の中には、「榊油産業が壊滅したら生産者に限らず人口は激減して、農協の衰退は元より、村役場の縮小も避けられない。そうした事態になれば、この島の行く末に大きな打撃となる」と警鐘を鳴らす声があります。今や、多くの榊林が一面雑木と雑草に覆われた原野になっています。

この原野を榊林に復元するには、机上の論はとつくに過ぎ去っていることを認識され、早急に、復元事業に取り組まれる事を求めます。

村長の心構えを伺います。**萩野産業観光課長** 榊林の維持には、イターン者が増えていく現状から兼業や副業で関わる人を増やすことが必要です。

農業機械購入に対する補助やモノラックの維持管理を継続的に実施するとともに、現在、草刈の自動化の実証を進めているところです。

榊油産業支援事業

笹岡議員 村長が云う、「今、生産者に支援事業をすると、将来の産業振興に支障を来す可能性がある」とする、「生産者自立論」には、生産者の誰に聞いても批判の声ばかりです。

農協が取り組んでいる、「JAS 榊油」の買取り価格に村が榊実1kg当たり、350円の支援助成することを求めます。この施策を講じる事によって、「勤労されている若い人たちの生産意欲を誘引することに功を奏する」と考えています。

これが実現すれば、榊油産業は魅力ある産業として期待できる、「将来展望に繋がる」と考えます。

この施策を重視して実施することを求めます。

萩野産業観光課長 利島の榊の商品価値の向上を図り、榊産業全体の振興につなげていくことを考えており、買取価格への支援については考えていません。

笹岡議員 如何に立派な機械を揃えても商品開発を図っても生産基盤が崩れていたのでは原材料の確保が出来ません。

生産地の復元と生産従事者の育成が「待ったなし」の喫緊の課題であることを認識して取り組まれないと考えます。

農業機械の助成拡充

笹岡議員 村は、「生産者に対してアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、補助対象の機器を加える」とし

ています。という事は、農協からの新規対象機器の推薦書は、「不要」と云う事になりはしませんか。**萩野産業観光課長** 機械購入

議会、行政、農協との三者会議

笹岡議員 村は、「生産者会議で対応できている」と開催を拒んでいます。

将来の榊油産業振興の要となる後継者対策として、議論の成果を三者が共有するため、イターン、Uターン者で就農希望の代表者を含めた、三者会議の開催は必須と考えています。

農協からも、「開催を要望している」と聞いています。

萩野産業観光課長 村は、農協が主催する生産者会議に出席して補助事業などの事業説明や意見交換を行っています。

村、農協、製油センター従事者とも定例会を開催し、現場での状況について情報交換を行っています。このような場を活用して、意見交換を行っていききたいと考えています。

現ごみ焼却施設の作業実態

笹岡議員 以前、「焼却灰を処理する機械装置が作動せず、手作業で灰出し処理している」と聞いた事があります。作業員の健康を害する環境は放置できません。

のニーズについては、今後も生産者に対してアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、農業機械助成を効果的に運用していきます。

笹岡議員 以前、「焼却灰を処理する機械装置が作動せず、手作業で灰出し処理している」と聞いた事があります。

新焼却場の建設計画が不透明な状況にあつて、1千3百万円の改修費の中には、作業員の安全と衛生を確保する為の計画はありますか。

上野環境建設課長 焼却灰を処理する機械装置の改修は計画にありません。作業時は防護服、防塵装置を装着しています。

生ゴミ処理

笹岡議員 発酵促進剤を活用した調査と実証実験に必要な物資を無償供与して、実証調査を無償で依頼する事を求めます。効果あれば実施を望みます。

上野環境建設課長 堆肥化のための器具の配布は考えていません。

議案

★議案番号と利島村は省略

監査委員の選任

氏名 梅田 孝司

《全議員同意 選任》

専決処分の承認

村税条例等の一部を改正する条例

一時的な措置として、納税者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき、令和6年分の所得税3万円、住民税1万円の減税となります。

《全議員賛成 承認》

議会議員及び村長の選挙における選挙運動の

公費負担に関する条例

選挙ビラやポスターの作成料金の公費負担額が少し上がりました。

《全議員賛成 可決成立》

6年度一般会計補正予算(第1号)

【討論】

笹岡議員 原案に反対します。

理由は、当初予算から改善されていない事。サテライトオフィスの現状での建設は認めがたい事。製油工場や焼却場の建設計画が不透明な事。住民の要望実現が進んでいない事です。

《賛成2 ◇ 反対2

議長決裁で可決成立》

議会を終えて

村長は、前日の休憩中

に議長、副議長と話し

合われた中では、「公務

であつた」と明言していま

す。それが、一夜明けた

本会議では、「公務では

なく政務」と言い換える

答弁には驚きました。

公務員たる議員と首

長が政策を語り合うの

は、「政務と云えば政務」

でしょうが、それにしても、

「政務」それ自体、公務

なのではありませんか。

それを、「公務ではない」と

主張する村長の論には

同調できかねます。

更には、前村長の施策

と云いつ、「自分の選挙

公約にはない」と云つて「そ

のような発言はしていな

い」と言い張るのも、事実

上、発言を認めていなが

ら否定しようとしている

ような、苦しい弁解に聞

野党完勝!裏金政治に審判

写真はしんぶん赤旗4/29付より

民意の勝利

東京15区(江東区)では

市民と野党の共闘で酒井なつみ氏当選

自民党の裏金問題など「政治とカネ」が問われた衆院3補欠選挙一。

東京15区、島根1区、長崎3区の3補選は28日に投開票され、東京15区では市民と野党の共同候補の酒井なつみ氏が勝利し、島根1区では亀井亜紀子氏、長崎3区では山田勝彦氏の両立憲民主党公認候補を日本共産党が自主支援し、勝利しました。

岸田政権に明確な不信任。補完勢力にも審判

自民党派閥の政治資金パーティーをめぐる裏金事件の発覚後初めての国政選挙であった3つの補欠選挙の結果は、自民党の金権腐敗に対する無反省とともに、日米首脳会談

で日米軍事同盟の歴史的変質を誓約し大軍拡路線へ暴走する岸田政権への厳しい審判となりました。同時に補完勢力である日本維新の会への厳しい審判となりました。



日本共産党 勝利に貢献

9人が立候補した東京15区(江東区)では、市民と野党の共同候補で立憲民主党公認の酒井なつみ氏が当選。選挙戦では看護師・助産師として12年働いた経験や区議を2期務めた実績を語りつつ、「古い政治と決別し、まっとうな政治を」と訴えて支持を広げました。日本共産党は小堤東・江東地区委員長の立候補を取り下げ、酒井氏を全力で支援しました。



4月16日におこなわれた市民と野党の共闘街宣(右から3人目が田村智子委員長)

日本共産党

は

政治資金規制法

をこう変える

記者会見する田村智子委員長
11月8日、国会内田村智子委員長
が提案

裏金政治を 根から断つ!

カネで動く政治をどう断つか—改革の方向が問われています。
3つの点が必要だと主張しました。

1 企業・団体献金の全面禁止

裏金事件の温床。パーティー券の購入、政党と
政党支部に対する献金を禁止し、全面的禁止
へと、今度こそ改革を。

2 政策活動費の廃止



政党から議員個人に手渡され、使途も公開しな
いので良い「ブラックボックス」。廃止すべきです。

3 政治家の責任逃れ許さぬ仕組み

「秘書がやった、事務局がやった」と言い逃れる
自民党議員。許さない仕組みを作ります。

田村委員長は、改革を進めるためにも裏金の全容解明が必要、また政党助成金の廃止も呼びかけたいと主張しました。

改正の名に値しない 与党案

自民、公明両党が9日に合意した与党案。

企業・団体献金の禁止
→ふれもしない

政策活動費

→禁止せず、公開範囲は棚上げ

議員の責任

→チェック「不十分」なら罰則

というもの。マスコミ各紙も「政治不信
の払拭にはほど遠い内容」(朝日)「抜本
改革 ほど遠く」(毎日)と報じました。

日本共産党

衆院比例東京ブロック予定候補

田村 智子
党委員長・参院議員宮本 徹
衆議院議員谷川 智行
医師・党政策副委員長坂井 和歌子
吉良山添事務所長

利島村議会議員

ささ おか とし かず
笹岡 寿一

住民の皆さんと共に歩む姿勢を貫きます

* この「あしたば」は、共産党 利島村で検索すれば読めます。(開くまで数秒掛かります) *